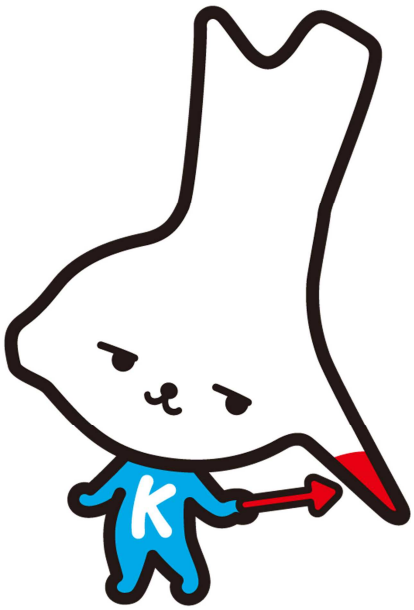
令和４年度

# 神栖市（公会計）財務書類

《統一的な基準モデル》



カミスココくん　©神栖市

令和６年１月

茨 城 県 神 栖 市

企画部　財政課

# 目　　次

１　はじめに　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１

２　対象となる会計の範囲　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　２

３　財務書類４表について　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　３
（１）貸借対照表（バランスシート）　・・・・・・・・・・・・・　４
　　貸借対照表経年変化　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
　　貸借対照表からわかること　・・・・・・・・・・・・・・・・　８
（２）行政コスト計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　９
　　行政コスト計算書経年変化　・・・・・・・・・・・・・・・・　１０
　　行政コスト計算書からわかること　・・・・・・・・・・・・　１１
（３）純資産変動計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１２
　　純資産変動計算書経年変化　・・・・・・・・・・・・・・・・　１３
　　純資産変動計算書からわかること　・・・・・・・・・・・・　１４
（４）資金収支計算書　・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１５
　　資金収支計算書経年変化　・・・・・・・・・・・・・・・・・　１６
　　資金収支計算書からわかること　・・・・・・・・・・・・・・　１７

４　令和４年度財務書類分析数値　・・・・・・・・・・・・・・　１８

５　分析比率の意味・内容について　・・・・・・・・・・・・・・　１９

## １．はじめに

平成１８年６月に施行した「簡素で効率的な政府を実現するための行政改革推進に関する法律」に基づき，地方公共団体の資産・債務改革のひとつとして「新地方公会計制度の整備」が位置付けられました。これにより，発生主義・複式簿記の考え方の導入を図り，「新地方公会計制度研究会報告書」（平成１８年５月総務省）で示された「基準モデル」または「総務省方式改訂モデル」のどちらかのモデルを採用し，地方公共団体単体及び関連団体等も含む連結ベースの４つの財務書類（貸借対照表・行政コスト計算書・資金収支計算書・純資産変動計算書）を平成２１年度までに整備することが求められました。

本市は，平成２０年度決算から，歳入歳出データを発生主義に基づき複式仕訳を行い，固定資産を全て公正価値（時価）で評価することで，精緻な財務書類の作成が可能となる**「基準モデル」**を採用し，平成 26 年度決算まで財務書類を作成してきました。

その後，今後の新地方公会計の推進について検討がすすむ中で，総務省が平成 27 年 1 月に公表した**「統一的な基準による地方公会計マニュアル」**に基づき，全ての地方公共団体において，原則として平成 27 年度から平成 29 年度までの３年度間に統一的な基準による財務書類等を作成することが求められました。

本市においては，**平成 27 年度決算から「統一的な基準」**による財務書類を作成し，神栖市の資産の把握や財政状況の分析に努めています。

この財務書類は，「一般会計等」と特別会計や企業会計を合わせた「全体会計ベース」に加え，一部事務組合や第３セクターなど，市の財政に影響する関係団体を含む「連結会計ベース」の３つの区分ごとに作成することになっており，神栖市が所有する資産と債務が把握できます。

今後も，それらの分析内容を充分活用して，より一層効率的な財政運営に取り組んでまいります。

## ２．対象となる会計の範囲

令和4年度決算における４つの財務書類は，「一般会計等（一般会計）」と特別会計や企業会計をあわせた「全体会計」，本市が関係する関連団体を含めた「連結会計」の３つの区分で作成します。

<table>
<tr><th colspan="3">区　　分</th><th>対象となる会計等</th></tr>
<tr><td rowspan="10">連結会計</td><td rowspan="3">全体会計</td><td>一般会計等</td><td>一　般　会　計</td></tr>
<tr><td>特別会計</td><td>国民健康保険特別会計・ 介護保険特別会計・後期高齢者医療特別会計</td></tr>
<tr><td>企業会計</td><td>水道事業会計・下水道事業会計</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="5">一部事務組合等</td><td>鹿島地方事務組合</td></tr>
<tr><td>鹿行広域事務組合</td></tr>
<tr><td>茨城県市町村総合事務組合</td></tr>
<tr><td>茨城租税債権管理機構</td></tr>
<tr><td>茨城県後期高齢者医療広域連合</td></tr>
<tr><td colspan="2" rowspan="3">第三セクター等</td><td>公益財団法人神栖市文化・スポーツ振興公社</td></tr>
<tr><td>鹿島港湾運送株式会社</td></tr>
<tr><td>社会福祉法人神栖市社会福祉協議会</td></tr>
</table>

※ 令和４年度決算での一般会計等の対象会計は，一般会計のみです。

※ 一部事務組合等は，複数の自治体と連携協力して行政サービスを実施している関係団体です。

※ 第三セクター等は，資本金，基本金その他これらに準ずるものの50％以上を本市が出資している団体，または，人件費の相当程度など重要な補助金を交付している団体です。

### ・作成基準日

会計年度の最終日である令和5年３月３１日です。

出納整理期間（令和5年4月1日から5月31日まで）の入出金については，作成基準日までに終了したものとして処理しています。

企業会計及び関係団体における未収金・未払金のうち，一般会計及び特別会計と出納整理期間に取引があったものは，作成基準日までに入出金されたものとして処理しています。

## ３． 財務書類４表について

（１） **貸借対照表（ＢＳ：Balance Sheet）；「ストック情報」**

年度末時点において，市が保有する「資産」・「負債」・「純資産」の残高を示すものです。
資産の部は，資金や金融資産と将来の世代に引き継ぐ社会資本の金額を示すものです。
負債の部は，将来の世代が負担しなければならない金額を示しています。
純資産の部は，これまでの世代が負担した金額を示しています。

（２） **行政コスト計算書（ＰＬ：Profit and Loss statement）；「フロー情報」**

１年間の行政活動で，福祉サービスやごみの収集にかかる経費など資産形成に結びつかない行政サービスに要したコストと使用料・手数料等の収益を示すものです。

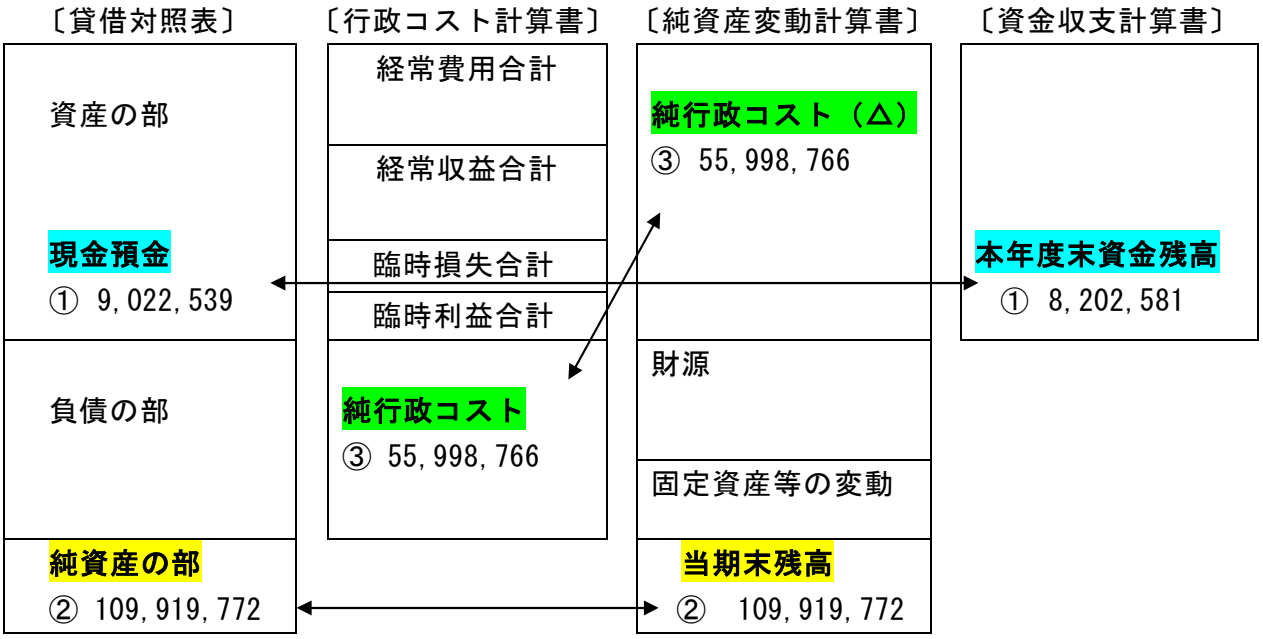
（３） **純資産変動計算書（NW：Net Worth ）；「純資産の変動情報」**

貸借対照表のうち「純資産の部」に計上されている数値が１年間でどのように変動（増減）したかを示すものです。

（４） **資金収支計算書（ＣＦ：Cash Flow statement ）；「現金収支情報」**

１年間における資金の流れを示すもので，性質に区分して，支出と収入を示し，どのような活動に資金が使われたかを示します。

**財務書類４表相関図（※金額については全体会計ベースで表示）** （単位：千円）




①現金預金については，歳計外現金（預り金）を含むため，資金残高と完全には一致しません。

## （１） 貸 借 対 照 表（バランスシート）(令和5年3月31日現在)

貸借対照表は令和４年度末（令和５年３月３１日）において，市が保有している「資産」とその資産をどのような財源（「負債」・「純資産」）でまかなっているかを表しています。

左側に「資産」，右側には資産を形成した財源を「負債」（将来世代の負担）と資産と負債の差額である「純資産」（これまでの世

■内容の説明

「固定資産」･･･事業用資産（庁舎，学校，文化センター等）とインフラ資産（公園，道路，排水路等）に分けられ，将来の世代に引き継ぐ社会資本や水道事業及び下水道事業への出資金などの投資その他の資産の合計です。

「流動資産」･･･資金（年度末に保有している現金及び基金以外の預金）や税等の未収金，貸付金，財政調整基金等の積立金，基金など将来現金化することが可能な財産

「固定負債」･･･流動負債に計上した公債の残額や退職給付（手当）引当金など将来の世代の負担となるものです。

「流動負債」･･･1年内償還予定公債（市債）やその他賞与引当金，預り金などです。

「純資産」････過去の世代や国･県が負担した将来返済しなくてよい財産です。

（単位：千円）

| 資産の部 | | | | 負債の部 | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 項目 | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 | 項目 | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
| **1 固定資産** | **119,820,254** | **159,419,562** | **172,780,287** | **1 固定負債** | **25,137,531** | **60,466,768** | **64,645,389** |
| 有形固定資産 | 107,184,068 | 153,433,981 | 163,849,320 | 地方債等 | 16,000,525 | 28,825,679 | 30,556,259 |
| 事業用資産 | 41,277,662 | 41,277,662 | 50,863,175 | 退職手当引当金 | 2,978,329 | 3,035,022 | 5,475,555 |
| インフラ資産 | 63,693,489 | 108,540,094 | 108,540,094 | その他 | 6,158,677 | 28,606,067 | 28,613,575 |
| 物品 | 2,212,916 | 3,616,226 | 4,446,051 | **2 流動負債** | **3,258,486** | **4,840,840** | **5,453,550** |
| 無形固定資産 | 264 | 564 | 7,453 | １年内償還予定地方債等 | 1,631,401 | 2,300,740 | 2,463,760 |
| 投資その他の資産 | 12,635,922 | 5,985,017 | 8,923,514 | 未払金 | — | 802,591 | 1,086,784 |
| 投資及び出資金 | 9,555,617 | 716,431 | 906,236 | 未払費用 | — | — | 155 |
| 長期延滞債権 | 306,931 | 638,619 | 640,778 | 前受金 | — | — | 53 |
| 長期貸付金 | 372,648 | 372,648 | 372,648 | 賞与等引当金 | 352,676 | 375,873 | 524,077 |
| 基金（公共施設整備基金等） | 2,431,038 | 4,333,908 | 7,075,180 | 預り金 | 819,958 | 819,958 | 835,285 |
| その他 | — | — | 5,425 | その他 | 454,450 | 541,677 | 543,435 |
| 徴収不能引当金 | △ 30,311 | △ 76,589 | △ 76,753 | | | | |
| **2 流動資産** | **10,198,428** | **15,807,818** | **19,852,737** | | | | |
| 現金預金 | 4,192,753 | 9,022,539 | 12,506,749 | | | | |
| 未収金 | 125,910 | 1,034,295 | 1,379,280 | | | | |
| 短期貸付金 | 37,482 | 37,482 | 37,482 | | | | |
| 基金（財政調整基金等） | 5,856,707 | 5,856,707 | 6,055,961 | **負債合計** | **28,396,017** | **65,307,608** | **70,098,938** |
| 棚卸資産 | — | 16,802 | 31,163 | 純資産の部 | | | |
| その他 | — | — | 2,135 | | | | |
| 徴収不能引当金 | △ 14,424 | △ 160,008 | △ 160,034 | **純資産合計** | **101,622,665** | **109,919,772** | **122,534,086** |
| **資産合計** | **130,018,682** | **175,227,380** | **192,633,024** | **負債及び純資産合計** | **130,018,682** | **175,227,380** | **192,633,024** |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

## 貸 借 対 照 表（バランスシート） 経年変化

《 一 般 会 計 等 》 （単位：千円）

| 資産の部 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **1 固定資産** | **119,820,254** | **119,703,129** | **117,125** | |
| 有形固定資産 | 107,184,068 | 106,993,047 | 191,021 | |
| 事業用資産 | 41,277,662 | 39,486,830 | 1,790,832 | はさき保健・交流センター建設及びはさきマリンプール建設に伴う増によるもの |
| インフラ資産 | 63,693,489 | 64,771,766 | △ 1,078,277 | 減価償却による資産価値の減によるもの |
| 物品 | 2,212,916 | 2,734,450 | △ 521,534 | 減価償却による資産価値の減によるもの |
| 無形固定資産 | 264 | 682 | △ 418 | |
| 投資その他の資産 | 12,635,922 | 12,709,400 | △ 73,478 | |
| 投資及び出資金 | 9,555,617 | 9,231,249 | 324,368 | 水道事業会計への出資金の増によるもの |
| 長期延滞債権 | 306,931 | 324,788 | △ 17,857 | 滞納繰越分の収入未済額の減によるもの |
| 長期貸付金 | 372,648 | 358,249 | 14,399 | 診療所開業事業費貸付金の増によるもの |
| 基金（公共施設整備基金等） | 2,431,038 | 2,824,602 | △ 393,564 | 公共施設整備基金及び協働のまちづくり推進基金残高の減によるもの |
| 徴収不能引当金 | △ 30,311 | △ 29,488 | △ 823 | 不納欠損率の上昇によるもの |
| **2 流動資産** | **10,198,428** | **11,183,702** | **△ 985,274** | |
| 現金預金 | 4,192,753 | 5,797,634 | △ 1,604,881 | 現預金残高の減によるもの |
| 未収金 | 125,910 | 115,232 | 10,678 | 現年分の収入未済額の増によるもの |
| 短期貸付金 | 37,482 | 41,515 | △ 4,033 | 翌年度貸付回収見込額の減によるもの |
| 基金（財政調整基金等） | 5,856,707 | 5,240,075 | 616,632 | 財政調整基金残高の増によるもの |
| 徴収不能引当金 | △ 14,424 | △ 10,755 | △ 3,669 | 未収金の増によるもの |
| **資産合計** | **130,018,682** | **130,886,831** | **△ 868,149** | |

| 負債の部 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **1 固定負債** | **25,137,531** | **23,721,488** | **1,416,043** | |
| 地方債 | 16,000,525 | 13,844,244 | 2,156,281 | 発行額の増によるもの |
| 退職手当引当金 | 2,978,329 | 3,031,550 | △ 53,221 | 退職手当引当金計上額の減によるもの |
| その他 | 6,158,677 | 6,845,695 | △ 687,018 | 小中学校幼稚園空調設備のリース支払によるもの |
| **2 流動負債** | **3,258,486** | **3,315,708** | **△ 57,222** | |
| １年内償還予定地方債 | 1,631,401 | 1,731,633 | △ 100,232 | 翌年度償還予定額の減によるもの |
| 賞与等引当金 | 352,676 | 320,138 | 32,538 | 賞与支給予定額の増によるもの |
| 預り金 | 819,958 | 814,056 | 5,902 | 市県民税の増によるもの |
| その他 | 454,450 | 449,880 | 4,570 | かみす防災アリーナ施設整備に係るR5年度割賦支払分 |
| **負債合計** | **28,396,017** | **27,037,196** | **1,358,821** | |
| **純資産の部** | | | | |
| **純資産合計** | **101,622,665** | **103,849,635** | **△ 2,226,970** | |
| **負債及び純資産合計** | **130,018,682** | **130,886,831** | **△ 868,149** | |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

《 全 体 会 計 》　　（単位：千円）

| 資産の部 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **1　固定資産** | **159,419,562** | **158,114,634** | **1,304,928** | |
| 有形固定資産 | 153,433,981 | 152,015,899 | 1,418,082 | |
| 事業用資産 | 41,277,662 | 39,486,830 | 1,790,832 | はさき保健・交流センター建設及びはさきマリンプール建設に伴う増によるもの |
| インフラ資産 | 108,540,094 | 108,238,453 | 301,641 | 水道事業会計及び下水道事業会計における管渠整備等に伴う増によるもの |
| 物品 | 3,616,226 | 4,290,615 | △ 674,389 | 減価償却による資産価値の減によるもの |
| 無形固定資産 | 564 | 981 | △ 417 | |
| 投資その他の資産 | 5,985,017 | 6,097,754 | △ 112,737 | |
| 投資及び出資金 | 716,431 | 716,664 | △ 233 | |
| 長期延滞債権 | 638,619 | 728,089 | △ 89,470 | 滞納繰越分の収入未済額の減によるもの |
| 長期貸付金 | 372,648 | 358,249 | 14,399 | 診療所開業事業費貸付金の増によるもの |
| 基金（公共施設整備基金等） | 4,333,908 | 4,370,078 | △ 36,170 | 公共施設整備基金及び協働のまちづくり推進基金残高の減によるもの |
| 徴収不能引当金 | △ 76,589 | △ 75,326 | △ 1,263 | 不納欠損率の上昇によるもの |
| **2　流動資産** | **15,807,818** | **16,283,863** | **△ 476,045** | |
| 現金預金 | 9,022,539 | 10,058,480 | △ 1,035,941 | 現預金残高の減によるもの |
| 未収金 | 1,034,295 | 1,074,781 | △ 40,486 | 現年分の収入未済額の減によるもの |
| 短期貸付金 | 37,482 | 41,515 | △ 4,033 | 翌年度貸付回収見込額の減によるもの |
| 基金（財政調整基金等） | 5,856,707 | 5,240,075 | 616,632 | 財政調整基金残高の増によるもの |
| 棚卸資産 | 16,802 | 16,604 | 198 | |
| 徴収不能引当金 | △ 160,008 | △ 147,592 | △ 12,416 | 不納欠損率の上昇によるもの |
| **資産合計** | **175,227,380** | **174,398,496** | **828,884** | |

| 負債の部 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **1　固定負債** | **60,466,768** | **58,215,630** | **2,251,138** | |
| 地方債等 | 28,825,679 | 26,158,538 | 2,667,141 | 発行額の増によるもの |
| 退職手当引当金 | 3,035,022 | 3,098,634 | △ 63,612 | 退職手当引当金計上額の減によるもの |
| その他 | 28,606,067 | 28,958,458 | △ 352,391 | 小中学校幼稚園空調設備のリース支払によるもの |
| **2　流動負債** | **4,840,840** | **4,408,296** | **432,544** | |
| １年内償還予定地方債等 | 2,300,740 | 2,363,743 | △ 63,003 | 翌年度償還予定額の減によるもの |
| 未払金 | 802,591 | 338,109 | 464,482 | 水道事業会計における増によるもの |
| 賞与等引当金 | 375,873 | 343,506 | 32,367 | 賞与支給予定額の増によるもの |
| 預り金 | 819,958 | 814,056 | 5,902 | 市県民税の増によるもの |
| その他 | 541,677 | 548,882 | △ 7,205 | 水道事業会計における減によるもの |
| **負債合計** | **65,307,608** | **62,623,926** | **2,683,682** | |
| **純資産の部** | | | | |
| **純資産合計** | **109,919,772** | **111,774,570** | **△ 1,854,798** | |
| **負債及び純資産合計** | **175,227,380** | **174,398,496** | **828,884** | |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

《 連 結 会 計 》　　（単位：千円）

| 資産の部 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **1　固定資産** | **172,780,287** | **168,914,105** | **3,866,182** | |
| 有形固定資産 | 163,849,320 | 159,989,714 | 3,859,606 | |
| 事業用資産 | 50,863,175 | 46,603,953 | 4,259,222 | 鹿島地方事務組合における新可燃ごみ処理施設整備に伴う増によるもの |
| インフラ資産 | 108,540,094 | 108,238,453 | 301,641 | 水道事業会計及び下水道事業会計における管渠整備等に伴う増によるもの |
| 物品 | 4,446,051 | 5,147,308 | △ 701,257 | 減価償却による資産価値の減によるもの |
| 無形固定資産 | 7,453 | 9,621 | △ 2,168 | |
| 投資その他の資産 | 8,923,514 | 8,914,770 | 8,744 | |
| 投資及び出資金 | 906,236 | 895,119 | 11,117 | 鹿島地方事務組合における出資金の増によるもの |
| 長期延滞債権 | 640,778 | 730,222 | △ 89,444 | 滞納繰越分の収入未済額の減によるもの |
| 長期貸付金 | 372,648 | 358,249 | 14,399 | 診療所開業事業費貸付金の増によるもの |
| 基金（公共施設整備基金等） | 7,075,180 | 7,000,958 | 74,222 | 茨城県市町村総合事務組合（退職手当事業）の増によるもの |
| その他 | 5,425 | 5,779 | △ 354 | |
| 徴収不能引当金 | △ 76,753 | △ 75,558 | △ 1,195 | 不納欠損率の上昇によるもの |
| **2　流動資産** | **19,852,737** | **21,467,763** | **△ 1,615,026** | |
| 現金預金 | 12,506,749 | 14,586,483 | △ 2,079,734 | 現預金残高の減によるもの |
| 未収金 | 1,379,280 | 1,514,039 | △ 134,759 | 現年分の収入未済額の減によるもの |
| 短期貸付金 | 37,482 | 42,504 | △ 5,022 | 翌年度貸付回収見込額の減によるもの |
| 基金（財政調整基金等） | 6,055,961 | 5,440,767 | 615,194 | 財政調整基金残高の増によるもの |
| 棚卸資産 | 31,163 | 28,993 | 2,170 | |
| その他 | 2,135 | 2,607 | △ 472 | 鹿島港湾運送の営業未収入金の減によるもの |
| 徴収不能引当金 | △ 160,034 | △ 147,631 | △ 12,403 | 不納欠損率の上昇によるもの |
| **資産合計** | **192,633,024** | **190,381,868** | **2,251,156** | |

| 負債の部 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **1　固定負債** | **64,645,389** | **61,802,666** | **2,842,723** | |
| 地方債等 | 30,556,259 | 27,505,260 | 3,050,999 | 発行額の増によるもの |
| 退職手当引当金 | 5,475,555 | 5,328,762 | 146,793 | 要支給額の増によるもの |
| その他 | 28,613,575 | 28,968,645 | △ 355,070 | 小中学校幼稚園空調設備のリース支払によるもの |
| **2　流動負債** | **5,453,550** | **5,362,695** | **90,855** | |
| １年内償還予定地方債等 | 2,463,760 | 2,528,610 | △ 64,850 | 翌年度償還予定額の減によるもの |
| 未払金 | 1,086,784 | 973,779 | 113,005 | 水道事業会計における増によるもの |
| 未払費用 | 155 | 428 | △ 273 | |
| 前受金 | 53 | 22 | 31 | |
| 賞与等引当金 | 524,077 | 477,001 | 47,076 | 賞与支給予定額の増によるもの |
| 預り金 | 835,285 | 832,215 | 3,070 | 歳計外現金（預り金）の増によるもの |
| その他 | 543,435 | 550,640 | △ 7,205 | 水道事業会計における減によるもの |
| **負債合計** | **70,098,938** | **67,165,361** | **2,933,577** | |
| **純資産の部** | | | | |
| **純資産合計** | **122,534,086** | **123,216,507** | **△ 682,421** | |
| **負債及び純資産合計** | **192,633,024** | **190,381,868** | **2,251,156** | |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

**【 貸借対照表からわかること 】**

・一般会計等では，資産1,300億1,868万2千円に対して，負債が283億9,601万7千円，純資産が1,016億2,266万5千円となりました。資産については，投資その他の資産において水道事業会計への出資金が増加となりましたが，流動資産における現金預金の減少や，有形固定資産及び無形固定資産の減価償却による価値の減少が上回ったことから，資産全体では減少しています。
　一方で負債は，地方債（地域交流・保健福祉機能拠点整備事業，体育施設整備事業等）の発行額が増加しており，資産と負債の差額である純資産は減少しています。

・全体会計では，資産1,752億2,738万円に対して，負債が653億760万8千円，純資産が1,099億1,977万2千円となりました。資産については，水道事業会計及び下水道事業会計における管渠整備などにより増加しています。負債については，一般会計等と同じく，地方債の発行額が増加しており，資産と負債の差額である純資産は減少しています。

・連結会計では，資産1,926億3,302万4千円に対して，負債が700億9,893万8千円，純資産が1,225億3,408万6千円となりました。資産については，鹿島地方事務組合における新可燃ごみ処理施設整備の影響などにより増加しています。負債については，鹿島地方事務組合において地方債が増加しているため，資産と負債の差額である純資産については減少しています。

(1) 資産について
　資産は，市政運営の資源として用いられ，将来にわたり行政サービスを提供するために使用されるものです。本市の一般会計等の総資産は，資産1,300億1,868万2千円，市民1人当たりに換算すると137万3千円となります。全体会計の総資産は，1,752億2,738万円，市民1人当たり185万円となります。連結会計の総資産は，1,926億3,302万4千円，市民1人当たり203万4千円となります。

(2) 負債について
　負債は，公債（市債）などの将来において支払いの必要があり，将来の世代が負担することとなる固定負債（非流動負債）と，短期間のうちに支払期限が到来する流動負債に区分されます。本市の負債は，一般会計等で総額283億9,601万7千円，市民1人当たりに換算すると30万円となります。全体会計の総額は653億760万8千円，市民1人当たり69万円，連結会計の総額は700億9,893万8千円，市民1人当たり74万円となります。

(3) 純資産について
　これまでの世代の負担で形成した純資産については，一般会計等で1,016億2,266万5千円，1人当たり107万3千円，全体会計で1,099億1,977万2千円，1人当たり116万1千円，連結会計で1,225億3,408万6千円，1人当たり129万4千円です。

※市民１人当たりの数値については，令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口94,710人で算出

## （２） 行政コスト計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

令和4年度1年間の経常的な行政活動のうち，福祉サービスやごみの収集にかかる経費など，資産形成につながらない行政サービスに要したコストと，その財源となる使用料や手数料等の収入の関係を表し，企業会計における損益計算書にあたるものです。

減価償却費など非現金コストについても計上し，経常費用合計から経常収益合計を差し引いたものが令和４年度の純経常行政コストとなります。

■内容の説明

「人件費」：職員給与や議員報酬，退職手当引当金（全職員が年度末に普通退職したと仮定した場合の見込額を繰入れた額）など

「物件費等」：備品や消耗品，施設等の維持補修の費用，社会資本の経年劣化等に伴う減少額（減価償却費），委託料や使用料・手数料など

「その他の業務費用」：公債（市債）償還の利子など

「移転費用」：市民や各団体等への補助金や児童手当，生活保護などの社会保障関係給付など

「経常収益」：使用料・手数料など，サービスの提供に対する収入等

（単位：千円）

| 項目 | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|---|---|---|---|
| **①経常費用（総行政コスト）＝１＋２** | **42,804,829** | **60,025,592** | **69,336,758** |
| **１　業務費用** | **25,846,380** | **30,732,991** | **36,446,044** |
| 人件費 | 6,041,449 | 6,390,584 | 8,933,353 |
| 物件費等 | 18,906,762 | 23,119,012 | 25,909,616 |
| その他の業務費用 | 898,170 | 1,223,395 | 1,603,075 |
| **２　移転費用** | **16,958,448** | **29,292,601** | **32,890,714** |
| 補助金等 | 7,927,507 | 22,064,667 | 25,664,387 |
| 社会保障給付 | 7,063,973 | 7,065,464 | 7,046,993 |
| 他会計への繰出金 | 1,804,588 | — | — |
| その他 | 162,380 | 162,471 | 179,334 |
| **②経常収益（使用料・手数料等）** | **731,732** | **3,905,237** | **6,502,927** |
| 使用料及び手数料 | 310,732 | 3,389,726 | 3,582,037 |
| その他 | 421,000 | 515,511 | 2,920,891 |
| **③純経常行政コスト（＝①経常費用－②経常収益）** | **42,073,097** | **56,120,355** | **62,833,830** |
| **④臨時損失（資産除売却損など）** | **2,354** | **3,900** | **4,534** |
| **⑤臨時利益（資産売却益など）** | **125,409** | **125,489** | **174,692** |
| **純行政コスト（③純経常行政コスト＋④臨時損失－⑤臨時利益）** | **41,950,042** | **55,998,766** | **62,663,672** |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

## 行政コスト計算書　経年変化

《一　般　会　計　等》　（単位：千円）

| 項目 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **①経常費用（総行政コスト）＝１＋２** | **42,804,829** | **44,473,051** | **△ 1,668,222** | |
| **１　業務費用** | **25,846,380** | **24,874,178** | **972,202** | |
| 人件費 | 6,041,449 | 5,840,094 | 201,355 | 職員給与費の増 |
| 物件費等 | 18,906,762 | 18,458,469 | 448,293 | 光熱費，給食賄材料費等の増 |
| その他の業務費用 | 898,170 | 575,614 | 322,556 | 新型コロナウイルス関連の各種給付金に係る補助金返還金の増 |
| **２　移転費用** | **16,958,448** | **19,598,873** | **△ 2,640,425** | |
| 補助金等 | 7,927,507 | 10,620,814 | △ 2,693,307 | 鹿島地方事務組合分担金の減 |
| 社会保障給付 | 7,063,973 | 6,991,101 | 72,872 | 価格高騰緊急支援給付金の増 |
| 他会計への繰出金 | 1,804,588 | 1,781,291 | 23,297 | 一般会計から特別会計への支出の増 |
| その他 | 162,380 | 205,667 | △ 43,287 | |
| **②経常収益（使用料・手数料等）** | **731,732** | **634,116** | **97,616** | |
| 使用料及び手数料 | 310,732 | 251,480 | 59,252 | 使用料・手数料収入の増 |
| その他 | 421,000 | 382,637 | 38,363 | |
| **③純経常行政コスト（＝①経常費用－②経常収益）** | **42,073,097** | **43,838,934** | **△ 1,765,837** | |
| **④臨時損失（資産除売却損など）** | **2,354** | **9,256** | **△ 6,902** | |
| **⑤臨時利益（資産売却益など）** | **125,409** | **104,587** | **20,822** | |
| **純行政コスト（③純経常行政コスト＋④臨時損失－⑤臨時利益）** | **41,950,042** | **43,743,603** | **△ 1,793,561** | |

《全　体　会　計》　（単位：千円）

| 項目 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **①経常費用（総行政コスト）＝１＋２** | **60,025,592** | **61,309,640** | **△ 1,284,048** | |
| **１　業務費用** | **30,732,991** | **29,699,746** | **1,033,245** | |
| 人件費 | 6,390,584 | 6,218,003 | 172,581 | 職員給与費の増 |
| 物件費等 | 23,119,012 | 22,582,236 | 536,776 | 光熱費，給食賄材料費等の増 |
| その他の業務費用 | 1,223,395 | 899,507 | 323,888 | 新型コロナウイルス関連の各種給付金に係る補助金返還金の増 |
| **２　移転費用** | **29,292,601** | **31,609,894** | **△ 2,317,293** | |
| 補助金等 | 22,064,667 | 24,409,897 | △ 2,345,230 | 鹿島地方事務組合分担金の減 |
| 社会保障給付 | 7,065,464 | 6,994,263 | 71,201 | 価格高騰緊急支援給付金の増 |
| その他 | 162,471 | 205,734 | △ 43,263 | |
| **②経常収益（使用料・手数料等）** | **3,905,237** | **3,795,446** | **109,791** | |
| 使用料及び手数料 | 3,389,726 | 3,272,629 | 117,097 | 使用料・手数料収入の増 |
| その他 | 515,511 | 522,817 | △ 7,306 | |
| **③純経常行政コスト（＝①経常費用－②経常収益）** | **56,120,355** | **57,514,194** | **△ 1,393,839** | |
| **④臨時損失（資産除売却損など）** | **3,900** | **9,264** | **△ 5,364** | |
| **⑤臨時利益（資産売却益など）** | **125,489** | **104,703** | **20,786** | |
| **純行政コスト（③純経常行政コスト＋④臨時損失－⑤臨時利益）** | **55,998,766** | **57,418,756** | **△ 1,419,990** | |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

《 連 結 会 計 》　　（単位：千円）

| 項目 | R4 | R3 | 比較 | 主な増減の理由 |
|---|---|---|---|---|
| **①経常費用（総行政コスト）＝１＋２** | **69,336,758** | **69,303,557** | **33,201** | |
| **１　業務費用** | **36,446,044** | **35,429,865** | **1,016,179** | |
| 人件費 | 8,933,353 | 8,750,139 | 183,214 | 職員給与費の増 |
| 物件費等 | 25,909,616 | 25,228,668 | 680,948 | 光熱費，給食賄材料費等の増 |
| その他の業務費用 | 1,603,075 | 1,451,059 | 152,016 | 新型コロナウイルス関連の各種給付金に係る補助金返還金の増 |
| **２　移転費用** | **32,890,714** | **33,873,691** | **△ 982,977** | |
| 補助金等 | 25,664,387 | 26,679,486 | △ 1,015,099 | 新型コロナウイルス関連の各種給付金の減 |
| 社会保障給付 | 7,046,993 | 6,974,039 | 72,954 | 価格高騰緊急支援給付金の増 |
| その他 | 179,334 | 220,166 | △ 40,832 | |
| **②経常収益（使用料・手数料等）** | **6,502,927** | **6,542,419** | **△ 39,492** | |
| 使用料及び手数料 | 3,582,037 | 3,465,103 | 116,934 | 使用料・手数料収入の増 |
| その他 | 2,920,891 | 3,077,316 | △ 156,425 | 鹿島港湾運送株式会社における減収 |
| **③純経常行政コスト（＝①経常費用－②経常収益）** | **62,833,830** | **62,761,138** | **72,692** | |
| **④臨時損失（資産除売却損など）** | **4,534** | **9,381** | **△ 4,847** | |
| **⑤臨時利益（資産売却益など）** | **174,692** | **217,544** | **△ 42,852** | |
| **純行政コスト（③純経常行政コスト＋④臨時損失－⑤臨時利益）** | **62,663,672** | **62,552,975** | **110,697** | |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

**【 行政コスト計算書からわかること 】**

(1) 経常費用について

総行政コストは，一般会計等で428億482万9千円，市民1人当たりに換算すると45万2千円，全体会計で600億2,559万2千円，市民1人当たり63万4千円，連結会計で693億3,675万8千円，市民1人当たり73万2千円です。

(2) 経常収益について

行政サービスを利用する市民が対価として負担する使用料・手数料などの経常収益は，一般会計等で7億3,173万2千円，全体会計で39億523万7千円，連結会計で65億292万7千円です。

(3) 純行政コストについて

純経常行政コストに臨時に発生する損失，利益を加味した純行政コストは，一般会計等で419億5,004万2千円，市民1人当たりに換算すると44万3千円，全体会計で559億9,876万6千円，市民1人当たり59万1千円，連結会計で626億6,367万2千円，市民1人当たり66万2千円となり，不足する部分については市税などで賄っています。

※市民１人当たりの数値については，令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口　94,710人で算出

## （３）純資産変動計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

令和4年度中の純資産（国・県や過去及び現世代が負担した将来返済が不要な財産）の変動額を明らかにし，どのような財源や要因により増減したかを表しています。（※純資産額については貸借対照表に掲載）

■内容の説明
「純行政コスト（△）」･･･行政コスト計算書によって計算された行政サービスに対するコストの財源不足分を表しています。
「財源」･･･市税，地方譲与税などの税収等や国県等補助金など行政コスト計算書に計上されない財源を表しています。
「固定資産等の変動」･･･有形固定資産等の増加と減少や貸付金・基金等の形成と取崩の額を表しています。
「資産評価差額」･･･固定資産や有価証券等の当該年度における評価益と評価損との差額を表しています。
「無償所管換等」･･･無償で譲渡または取得した固定資産の評価額を表しています。

（単位：千円）

| | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|---|---|---|---|
| **前年度末純資産残高（令和4年3月31日現在）** | **103,849,635** | **111,774,570** | **123,216,507** |
| **1 純行政コスト（△）** | **△ 41,950,042** | **△ 55,998,766** | **△ 62,663,672** |
| **2 財源** | **39,719,194** | **54,080,847** | **61,656,456** |
| （１）税収等 | 28,612,468 | 34,561,550 | 37,866,555 |
| （２）国県等補助金 | 11,106,726 | 19,519,297 | 23,789,901 |
| **3 本年度差額（１純行政コスト（△）＋２財源）** | **△ 2,230,848** | **△ 1,917,919** | **△ 1,007,216** |
| **4 固定資産等の変動（内部変動）** | — | — | — |
| **5 資産評価差額** | — | — | — |
| **6 無償所管換等** | 3,878 | 63,120 | 63,362 |
| **7 他団体出資等分** | — | — | — |
| **8 比例連結割合変更に伴う差額** | — | — | 264,564 |
| **9 その他純資産の変動** | — | — | △ 3,132 |
| **本年度純資産変動額（令和4年度中）** | **△ 2,226,970** | **△ 1,854,798** | **△ 682,421** |
| **本年度末純資産残高（令和5年3月31日現在）** | **101,622,665** | **109,919,772** | **122,534,086** |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

## 純資産変動計算書　経年変化

《一　般　会　計　等》

（単位：千円）

| 期首純資産残高 | R4 | R3 | 比較 |
|---|---|---|---|
| | 103,849,635 | 104,935,134 | △ 1,085,499 |
| 1 純行政コスト（△） | △ 41,950,042 | △ 43,743,603 | 1,793,561 |
| 2 財源 | 39,719,194 | 42,654,059 | △ 2,934,865 |
| （1）税収等 | 28,612,468 | 30,191,412 | △ 1,578,944 |
| （2）国県等補助金 | 11,106,726 | 12,462,646 | △ 1,355,920 |
| 3 本年度差額（1純行政コスト（△）＋2財源） | △ 2,230,848 | △ 1,089,545 | △ 1,141,303 |
| 4 固定資産等の変動（内部変動） | — | — | — |
| 5 資産評価差額 | — | — | — |
| 6 無償所管換等 | 3,878 | 4,045 | △ 167 |
| 7 他団体出資等分 | — | — | — |
| 8 比例連結割合変更に伴う差額 | — | — | — |
| 9 その他純資産の変動 | — | — | — |
| 当期純資産変動額 | △ 2,226,970 | △ 1,085,499 | △ 1,141,471 |
| 期末純資産残高 | 101,622,665 | 103,849,635 | △ 2,226,970 |

《全　体　会　計》

（単位：千円）

| 期首純資産残高 | R4 | R3 | 比較 |
|---|---|---|---|
| | 111,774,570 | 112,198,946 | △ 424,376 |
| 1 純行政コスト（△） | △ 55,998,766 | △ 57,418,756 | 1,419,990 |
| 2 財源 | 54,080,847 | 56,929,044 | △ 2,848,197 |
| （1）税収等 | 34,561,550 | 36,228,177 | △ 1,666,627 |
| （2）国県等補助金 | 19,519,297 | 20,700,866 | △ 1,181,569 |
| 3 本年度差額（1純行政コスト（△）＋2財源） | △ 1,917,919 | △ 489,712 | △ 1,428,207 |
| 4 固定資産等の変動（内部変動） | — | — | — |
| 5 資産評価差額 | — | — | — |
| 6 無償所管換等 | 63,120 | 65,336 | △ 2,216 |
| 7 他団体出資等分 | — | — | — |
| 8 比例連結割合変更に伴う差額 | — | — | — |
| 9 その他純資産の変動 | — | — | — |
| 当期純資産変動額 | △ 1,854,798 | △ 424,376 | △ 1,430,422 |
| 期末純資産残高 | 109,919,772 | 111,774,570 | △ 1,854,798 |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

《 連 結 会 計 》 （単位：千円）

| 期首純資産残高 | R4 | R3 | 比較 |
|---|---|---|---|
| | 123,216,507 | 121,080,144 | 2,136,363 |
| 1 純行政コスト（△） | △ 62,663,672 | △ 62,552,975 | △ 110,697 |
| 2 財源 | 61,656,456 | 64,545,309 | △ 2,888,853 |
| （1）税収等 | 37,866,555 | 39,419,500 | △ 1,552,945 |
| （2）国県等補助金 | 23,789,901 | 25,125,809 | △ 1,335,908 |
| 3 本年度差額（1純行政コスト（△）＋2財源） | △ 1,007,216 | 1,992,334 | △ 2,999,550 |
| 4 固定資産等の変動（内部変動） | — | — | — |
| 5 資産評価差額 | — | — | — |
| 6 無償所管換等 | 63,362 | 65,886 | △ 2,524 |
| 7 他団体出資等分 | — | — | — |
| 8 比例連結割合変更に伴う差額 | 264,564 | 78,142 | 186,422 |
| 9 その他純資産の変動 | △ 3,132 | 0 | △ 3,132 |
| 当期純資産変動額 | △ 682,421 | 2,136,363 | △ 2,818,784 |
| 期末純資産残高 | 122,534,086 | 123,216,507 | △ 682,421 |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

**【純資産変動計算書からわかること】**

・一般会計等は，「期末純資産残高1,016億2,266万5千円」から「期首純資産残高1,038億4,963万5千円」を引いた『22億2,697万円』が令和4年度における純資産の減少した額です。全体会計は，『18億5,479万8千円』が純資産の減少した額，連結会計は，『6億8,242万1千円』が純資産の減少した額です。

・前年度と比較すると，一般会計等及び全体会計は，純行政コストが昨年度と比較して，震災復興特別交付税の減少により地方交付税が減少したため，期末純資産残高は減少となりました。

また，連結会計については，鹿島地方事務組合において国庫補助金として収入した循環型社会形成推進交付金の減少に伴い，昨年度と比較して期末純資産残高は減少となりました。

## （４） 資金収支計算書（令和4年4月1日から令和5年3月31日）

令和4年度における行政活動に伴う現金等の資金の増減を，性質の異なる三つの活動「業務活動収支」，「投資活動収支」，「財務活動収支」に区分し，どのような活動に資金が必要であったかを表しています。

■内容の説明
「業務活動収支」･･･行政サービスを行う中で毎年度継続的に収入・支出されるものです。
「投資活動収支」･･･学校・道路・公園などの資産形成や投資・貸付金などの収入・支出などです。
「財務活動収支」･･･公債（市債）・借入金などの借入（収入）や償還（支出）などです。

（単位：千円）

| 前年度末資金残高（令和4年3月31日現在） | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|---|---|---|---|
| | **4,983,578** | **9,244,424** | **13,767,715** |
| **1 業務活動収支** | **2,021,258** | **3,269,010** | **3,653,315** |
| （１）業務支出 | 37,661,875 | 53,206,707 | 62,380,047 |
| ①業務費用支出（人件費・物件費等など） | 20,703,427 | 23,914,105 | 29,489,333 |
| うち支払利息支出 | 122,835 | 269,669 | 278,467 |
| ②移転費用支出（補助金・扶助費など） | 16,958,448 | 29,292,601 | 32,890,714 |
| （２）業務収入 | 39,683,133 | 56,477,182 | 66,034,827 |
| ①税収等収入（税・地方譲与税・介護保険料など） | 28,570,904 | 34,033,911 | 37,338,917 |
| ②国県等補助金収入（国県支出金など） | 10,388,081 | 18,554,486 | 22,115,532 |
| ③使用料及び手数料収入 | 310,508 | 3,379,892 | 3,572,203 |
| ④その他の収入 | 413,640 | 508,892 | 3,008,175 |
| （３）臨時支出 | — | 1,545 | 1,545 |
| （４）臨時収入 | — | 80 | 80 |
| **2 投資活動収支** | **△ 5,455,522** | **△ 6,682,424** | **△ 8,488,043** |
| （１）投資活動支出 | 8,769,529 | 11,161,793 | 13,928,459 |
| ①公共施設等整備費支出（工事請負費など） | 5,746,513 | 7,971,312 | 10,615,771 |
| ②基金積立金支出 | 2,591,646 | 3,083,712 | 3,205,915 |
| ③その他の支出（貸付金・投資及び出資金など） | 431,370 | 106,770 | 106,774 |
| （２）投資活動収入 | 3,314,007 | 4,479,369 | 5,440,416 |
| ①国県等補助金収入 | 718,645 | 1,390,776 | 2,100,334 |
| ②基金取崩収入 | 2,368,079 | 2,502,750 | 2,704,152 |
| ③その他の収入（貸付金元金回収，資産売却収入など） | 227,284 | 585,844 | 635,930 |
| **3 財務活動収支** | **1,823,481** | **2,371,571** | **2,693,940** |
| （１）財務活動支出 | 1,981,219 | 2,613,329 | 2,789,082 |
| ①地方債償還支出（市債の元金償還分） | 1,748,652 | 2,380,762 | 2,551,599 |
| ②その他の支出 | 232,567 | 232,567 | 237,483 |
| （２）財務活動収入（市債の発行収入） | 3,804,700 | 4,984,900 | 5,483,022 |
| ①地方債発行収入 | 3,804,700 | 4,984,900 | 5,483,013 |
| ②その他の収入 | — | — | 8 |
| **本年度資金収支額（令和４年度中）** | **△ 1,610,783** | **△ 1,041,843** | **△ 2,140,788** |
| **比例連結割合変更に伴う差額** | **—** | **—** | **54,989** |
| **本年度末資金残高（令和５年3月31日現在）** | **3,372,794** | **8,202,581** | **11,681,917** |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

## 資金収支計算書　経年変化

《一　般　会　計　等》　（単位：千円）

| 期首資金残高 | R4 | R3 | 比較 |
|---|---|---|---|
| | **4,983,578** | **3,480,561** | **1,503,017** |
| **1 業務活動収支** | **2,021,258** | **3,226,593** | **△ 1,205,335** |
| （1）業務支出 | 37,661,875 | 39,498,724 | △ 1,836,849 |
| ①業務費用支出（人件費・物件費等など） | 20,703,427 | 19,899,851 | 803,576 |
| うち支払利息支出 | 122,835 | 132,081 | △ 9,246 |
| ②移転費用支出（補助金・扶助費など） | 16,958,448 | 19,598,873 | △ 2,640,425 |
| （2）業務収入 | 39,683,133 | 42,725,317 | △ 3,042,184 |
| ①税収等収入（税・地方譲与税・介護保険料など） | 28,570,904 | 30,210,079 | △ 1,639,175 |
| ②国県等補助金収入（国県支出金など） | 10,388,081 | 11,905,729 | △ 1,517,648 |
| ③使用料及び手数料収入 | 310,508 | 252,714 | 57,794 |
| ④その他の収入 | 413,640 | 356,794 | 56,846 |
| （3）臨時支出 | — | — | — |
| （4）臨時収入 | — | — | — |
| **2 投資活動収支** | **△ 5,455,522** | **△ 2,459,182** | **△ 2,996,340** |
| （1）投資活動支出 | 8,769,529 | 6,886,070 | 1,883,459 |
| ①公共施設等整備費支出（工事請負費など） | 5,746,513 | 4,408,784 | 1,337,729 |
| ②基金積立金支出 | 2,591,646 | 1,860,290 | 731,356 |
| ③その他の支出（貸付金・投資及び出資金など） | 431,370 | 616,997 | △ 185,627 |
| （2）投資活動収入 | 3,314,007 | 4,426,888 | △ 1,112,881 |
| ①国県等補助金収入 | 718,645 | 556,917 | 161,728 |
| ②基金取崩収入 | 2,368,079 | 3,616,059 | △ 1,247,980 |
| ③その他の収入（貸付金元金回収，資産売却収入など） | 227,284 | 253,912 | △ 26,628 |
| **3 財務活動収支** | **1,823,481** | **735,606** | **1,087,875** |
| （1）財務活動支出 | 1,981,219 | 1,692,894 | 288,325 |
| ①地方債償還支出（市債の元金償還分） | 1,748,652 | 1,460,327 | 288,325 |
| ②その他の支出 | 232,567 | 232,567 | 0 |
| （2）財務活動収入（市債の発行収入） | 3,804,700 | 2,428,500 | 1,376,200 |
| ①地方債発行収入 | 3,804,700 | 2,428,500 | 1,376,200 |
| ②その他の収入 | — | — | — |
| **当期資金収支額** | **△ 1,610,783** | **1,503,017** | **△ 3,113,800** |
| **期末資金残高** | **3,372,794** | **4,983,578** | **△ 1,610,784** |

《全　体　会　計》　（単位：千円）

| 期首資金残高 | R4 | R3 | 比較 |
|---|---|---|---|
| | **9,244,424** | **7,567,543** | **1,676,881** |
| **1 業務活動収支** | **3,269,010** | **4,698,559** | **△ 1,429,549** |
| （1）業務支出 | 53,206,707 | 54,476,100 | △ 1,269,393 |
| ①業務費用支出（人件費・物件費等など） | 23,914,105 | 22,866,206 | 1,047,899 |
| うち支払利息支出 | 269,669 | 285,934 | △ 16,265 |
| ②移転費用支出（補助金・扶助費など） | 29,292,601 | 31,609,894 | △ 2,317,293 |
| （2）業務収入 | 56,477,182 | 59,174,551 | △ 2,697,369 |
| ①税収等収入（税・地方譲与税・介護保険料など） | 34,033,911 | 35,799,154 | △ 1,765,243 |
| ②国県等補助金収入（国県支出金など） | 18,554,486 | 19,909,561 | △ 1,355,075 |
| ③使用料及び手数料収入 | 3,379,892 | 2,975,991 | 403,901 |
| ④その他の収入 | 508,892 | 489,846 | 19,046 |
| （3）臨時支出 | 1,545 | 8 | 1,537 |
| （4）臨時収入 | 80 | 116 | △ 36 |
| **2 投資活動収支** | **△ 6,682,424** | **△ 4,113,764** | **△ 2,568,660** |
| （1）投資活動支出 | 11,161,793 | 9,463,276 | 1,698,517 |
| ①公共施設等整備費支出（工事請負費など） | 7,971,312 | 6,814,998 | 1,156,314 |
| ②基金積立金支出 | 3,083,712 | 2,208,578 | 875,134 |
| ③その他の支出（貸付金・投資及び出資金など） | 106,770 | 439,700 | △ 332,930 |
| （2）投資活動収入 | 4,479,369 | 5,349,512 | △ 870,143 |
| ①国県等補助金収入 | 1,390,776 | 1,120,881 | 269,895 |
| ②基金取崩収入 | 2,502,750 | 3,674,530 | △ 1,171,780 |
| ③その他の収入（貸付金元金回収，資産売却収入など） | 585,844 | 554,101 | 31,743 |
| **3 財務活動収支** | **2,371,571** | **1,092,086** | **1,279,485** |
| （1）財務活動支出 | 2,613,329 | 2,293,814 | 319,515 |
| ①地方債償還支出（市債の元金償還分） | 2,380,762 | 2,061,247 | 319,515 |
| ②その他の支出 | 232,567 | 232,567 | 0 |
| （2）財務活動収入（市債の発行収入） | 4,984,900 | 3,385,900 | 1,599,000 |
| ①地方債発行収入 | 4,984,900 | 3,385,900 | 1,599,000 |
| ②その他の収入 | — | — | — |
| **当期資金収支額** | **△ 1,041,843** | **1,676,881** | **△ 2,718,724** |
| **期末資金残高** | **8,202,581** | **9,244,424** | **△ 1,041,843** |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

《 連 結 会 計 》 （単位：千円）

| 期首資金残高 | R4 | R3 | 比較 |
|---|---|---|---|
| | 13,767,715 | 12,969,676 | 798,039 |
| **1 業務活動収支** | **3,653,315** | **6,752,315** | **△ 3,099,000** |
| （1）業務支出 | 62,380,047 | 61,629,505 | 750,542 |
| ①業務費用支出（人件費・物件費等など） | 29,489,333 | 27,755,814 | 1,733,519 |
| うち支払利息支出 | 278,467 | 293,441 | △ 14,974 |
| ②移転費用支出（補助金・扶助費など） | 32,890,714 | 33,873,691 | △ 982,977 |
| （2）業務収入 | 66,034,827 | 68,381,713 | △ 2,346,886 |
| ①税収等収入（税・地方譲与税・介護保険料など） | 37,338,917 | 38,990,477 | △ 1,651,560 |
| ②国県等補助金収入（国県支出金など） | 22,115,532 | 23,262,492 | △ 1,146,960 |
| ③使用料及び手数料収入 | 3,572,203 | 3,168,465 | 403,738 |
| ④その他の収入 | 3,008,175 | 2,960,279 | 47,896 |
| （3）臨時支出 | 1,545 | 8 | 1,537 |
| （4）臨時収入 | 80 | 116 | △ 36 |
| **2 投資活動収支** | **△ 8,488,043** | **△ 7,390,366** | **△ 1,097,677** |
| （1）投資活動支出 | 13,928,459 | 14,070,911 | △ 142,452 |
| ①公共施設等整備費支出（工事請負費など） | 10,615,771 | 11,158,496 | △ 542,725 |
| ②基金積立金支出 | 3,205,915 | 2,371,805 | 834,110 |
| ③その他の支出（貸付金・投資及び出資金など） | 106,774 | 540,610 | △ 433,836 |
| （2）投資活動収入 | 5,440,416 | 6,680,545 | △ 1,240,129 |
| ①国県等補助金収入 | 2,100,334 | 2,192,893 | △ 92,559 |
| ②基金取崩収入 | 2,704,152 | 3,898,521 | △ 1,194,369 |
| ③その他の収入（貸付金元金回収，資産売却収入など） | 635,930 | 589,131 | 46,799 |
| **3 財務活動収支** | **2,693,940** | **1,377,759** | **1,316,181** |
| （1）財務活動支出 | 2,789,082 | 2,458,193 | 330,889 |
| ①地方債償還支出（市債の元金償還分） | 2,551,599 | 2,223,703 | 327,896 |
| ②その他の支出 | 237,483 | 234,489 | 2,994 |
| （2）財務活動収入（市債の発行収入） | 5,483,022 | 3,835,952 | 1,647,070 |
| ①地方債発行収入 | 5,483,013 | 3,835,952 | 1,647,061 |
| ②その他の収入 | 8 | ― | 8 |
| **当期資金収支額** | **△ 2,140,788** | **739,708** | **△ 2,880,496** |
| **比例連結割合変更に伴う差額** | **54,989** | **58,332** | **△ 3,343** |
| **期末資金残高** | **11,681,917** | **13,767,715** | **△ 2,085,798** |

※記載金額は表示単位未満を四捨五入して表示しているため，合計と一致しない場合があります。

**【 資金収支計算書からわかること 】**

・一般会計等については，業務活動収支はプラス20億2,125万8千円，固定資産への投資キャッシュフローである投資活動収支はマイナス54億5,552万2千円，財務活動収支はプラス18億2,348万1千円となりました。結果として資金収支のトータルはマイナス16億1,078万3千円となり，当年度末資金残高は33億7,279万4千円となりました。
前年度と比較すると，業務活動収支は，税収等収入の減少等により，12億533万5千円減少しました。投資活動収支は，公共施設等整備費支出の増加等により，29億9,634万円減少しました。財務活動収支は，地方債発行収入の増加等により，10億8,787万5千円増加しました。

・全体会計については，業務活動収支はプラス32億6,901万円，投資活動収支はマイナス66億8,242万4千円，財務活動収支はプラス23億7,157万1千円となり，資金収支のトータルはマイナス10億4,184万3千円，当年度末資金残高は82億258万1千円となりました。

・連結会計については，業務活動収支はプラス36億5,331万5千円，投資活動収支はマイナス84億8,804万3千円，財務活動収支はプラス26億9,394万円となり，資金収支のトータルはマイナス21億4,078万8千円，当年度末資金残高は116億8,191万7千円となりました。

# 4. 令和4年度財務書類分析数値

| | | 一般会計等 | 全体会計 | 連結会計 |
|---|---|---|---|---|
| 資産の状況 | ①市民１人当たり資産額 | 137万3千円 | 185万円 | 203万4千円 |
| | ②歳入額対資産比率 | 2.51年分 | 2.33年分 | 2.12年分 |
| | ③有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率） | 57.1% | 49.2% | 50.4% |
| 資産と負債の比率 | ①純資産比率 | 78.2% | 62.7% | 63.6% |
| | ②社会資本等形成の世代間負担比率（将来世代負担比率） | 13.6% | 18.3% | 18.3% |
| 負債の状況 | ①市民１人当たり負債額 | 30万円 | 69万円 | 74万円 |
| | ②基礎的財政収支（プライマリーバランス） | △30億8,786万2千円 | △25億6,278万3千円 | △40億5,449万8千円 |
| | ③債務償還比率（参考） | 456.9% | ― | ― |
| 行政コストの状況 | ①市民１人当たり行政コスト | 44万3千円 | 59万1千円 | 66万2千円 |
| | ②市民１人当たり人件費 | 6万4千円 | 6万7千円 | 9万4千円 |
| | ③市民１人当たり減価償却費 | 5万4千円 | 7万円 | 7万5千円 |
| | ④市民１人当たり補助金等 | 8万4千円 | 23万3千円 | 27万1千円 |
| 受益者負担の状況 | ①受益者負担比率 | 1.7% | 6.5% | 9.4% |

※市民1人当たりの数値については，令和5年1月1日現在の住民基本台帳人口94,710人を用いています。

## ５．分析比率の意味・内容について

### Ⅰ　資産の状況　「将来世代に残る資産はどのくらいあるか」

**① 市民１人当たり資産額（全体会計）**　R3　183万4千円

**資産合計 ／住民基本台帳人口**（※）

175,227,380千円 ／ 94,710人 ＝ 185万円

市が所有する資産額を住民人口で除して，１人当たりの金額を算出したものです。

※住民基本台帳人口は，令和５年１月１日現在の 94,710 人を用いています。

**② 歳入額対資産比率（全体会計）**　R3　2.31年分

**資産合計 ／ （本年度収入合計＋前年度末資金残高）**

175,227,380千円 ／ （65,941,531千円＋9,244,424千円） ＝ 2.33年分

本年度の歳入総額に対する資産の比率を表したものです。これまでに取得した資産が，歳入の何年分に相当するかを表しています。

**③ 有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）（全体会計）**　R3　48.4%

**有形固定資産の減価償却累計額 ／ 取得価額等**

118,803,261 千円 ／ 241,607,258 千円 ＝ 49.2%

土地，物品及び建設仮勘定（建設中の建物等に支払った建設費の一部）以外の有形固定資産を一定の耐用年数によって減価償却を実施した場合，年度末における資産が全体として耐用年数に対し取得からどの程度経過しているかの比率で，100%に近いほど老朽化の程度が高いことを示しています。

### Ⅱ　資産と負債の比率　「将来世代と現世代との負担の分担は適切か」

**① 純資産比率（全体会計）**　R3　64.1%

**純資産合計 ／ 資産合計**

109,919,772千円 ／ 175,227,380千円 ＝ 62.7%

地方公共団体が有する資産のうち純資産の部分は過去及び現役世代の負担によるもので，負債の部分は将来の返済が必要なものとして将来世代が負担することになります。そのため，純資産の変動は，将来世代と現世代との間で負担の割合が変動したことを意味します。将来負担を過重にしないためにも，純資産比率は高い方が良いとされています。

**② 社会資本等形成の世代間負担比率（全体会計）**　R3　16.4%

**（地方債合計－特例地方債） ／ （有形固定資産＋無形固定資産）**

（31,126,419千円－3,046,351千円）／（153,433,981千円＋564千円）＝ 18.3%

市の所有する社会資本等の財源のうち，将来償還等が必要な負債が占める割合（公共資産等形成充当負債の割合）を算出することにより，社会資本等形成に係る将来世代の負担の比率を把握することができます。この比率が高いほど，将来世代の負担が大きいことを示しています。

## Ⅲ　負債の状況　「財政に持続可能性があるか（どのくらい借金があるか）」

### ①　市民１人当たり負債額（全体会計）　R3　65万9千円

**負債額 ／ 住民基本台帳人口**

65,307,608千円 ／ 94,710人 ＝ 69万円

負債（将来世代の負担）が市民１人当たりいくらあるのかを表し，市民１人当たりの資産や純資産などと対比して財政の健全性を検討する指標です。

Ⅰ．資産の状況の指標①「市民１人当たり資産額」と比較すると，負債額の約2.68倍の資産を保有していることがわかります。

### ②　基礎的財政収支（プライマリーバランス）（全体会計）　R3　△595,223千円

**業務活動収支 ＋ 支払利息支出 ＋ 投資活動収支 ＋ 基金積立支出 － 基金取崩収入**

3,269,010千円 + 269,669千円 + (△6,682,424千円) + 3,083,712千円 － 2,502,750千円 ＝ △2,562,783千円

資金収支計算書上の業務活動収支（支払利息支出を除く）及び投資活動収支（基金積立支出及び基金取崩収入を除く）の合算額のことをいい，地方債等の元利償還額を除いた歳出と，地方債等発行収入を除いた歳入の収支を示しています。当該収支が均衡している場合には，経済成長率が長期金利を下回らない限り経済規模に対する地方債等の比率は増加せず，持続可能な財政運営であるといえます。

しかしながら，公共資産投資は大部分が起債や基金の取り崩しにより賄われるため，一時的にマイナスとなることもありますが，住民に対するサービス提供能力を有し将来世代に対して便益を提供する社会資本への必要な投資は，起債に過度に依存しすぎない状況であり基礎的財政収支が中長期的にみて均衡する状況であれば，問題がないと考えられます。

### ③　債務償還比率（一般会計等）＜参考指標＞　R3　496.3%

**（将来負担額－充当可能財源）／ 経常一般財源等(歳入)－経常経費充当財源等**

(33,426,703千円－10,130,323千円）／（26,037,773千円－20,938,766千円）＝456.9%

地方債や退職手当引当金といった実質債務の償還に充当できる一般財源（経常的な業務活動の黒字分）に対する実質債務の比率を示す指標です。債務償還能力は債務償還比率が低いほど高いといえます。債務の償還原資を経常的な業務活動からどれだけ確保できているかということは，債務償還能力を把握するうえで非常に重要な指標です。

## Ⅳ　行政コストの状況「行政サービスは効率的に提供されているか」

### ①　市民１人当たり行政コスト（全体会計）　R3　60万4千円

**純行政コスト ／ 住民基本台帳人口**

55,998,766千円 ／ 94,710人 ＝ 59万1千円

行政コスト（資産形成につながらない行政サービス等）が，市民１人当たりいくらかかっているのかを表しています。

② 市民１人当たり人件費（全体会計）　　R3　6万5千円

人件費 ／ 住民基本台帳人口

6,390,584千円 ／ 94,710人＝ 6万7千円

行政コストのうち人件費だけに絞って市民１人当たりのコストを計算したものです。人件費には，議員や職員，会計年度任用職員にいたるまで，実際の給与や退職手当負担金の現金支出額のみならず発生主義において認識した退職手当引当金や賞与引当金も含んでいます。

③ 市民１人当たり減価償却費（全体会計）　　R3　6万9千円

減価償却費 ／ 住民基本台帳人口

6,650,012千円 ／ 94,710人＝ 7万円

社会資本等（事業用資産＋インフラ資産）の使用コストを表す減価償却費が，市民１人当たりいくらになるかを表しています。

④ 市民１人当たり補助金等（全体会計）　　R3　25万7千円

補助金等／ 住民基本台帳人口

22,064,667千円 ／ 94,710人＝ 23万3千円

政策目的により市民や各団体などへ支出する補助金などが，市民１人当たりいくらになるかを表しています。

## Ⅴ　受益者負担の状況「歳入はどのくらい税収等で賄われているか（受益者負担の水準はどうなっているか）」

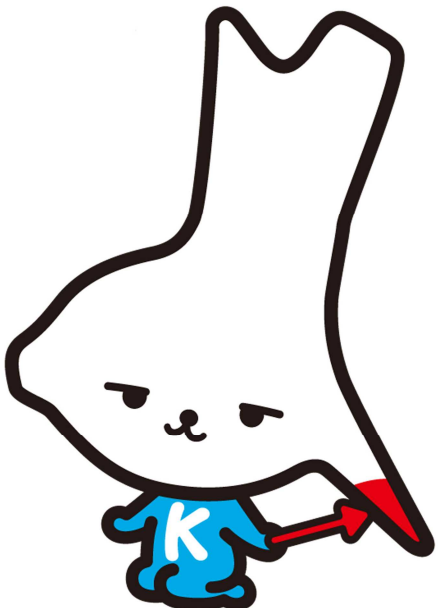
① 受益者負担比率（全体会計）　　R3　6.2%

経常収益 ／ 経常費用

3,905,237 千円 ／ 60,025,592 千円 ＝ 6.5%

地方公共団体の経常費用のうち，サービスの受益者が直接的に負担するコストの比率です。

IBARAKI KAMISU



カミスココくん ©神栖市